



JAPANESE B – HIGHER LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS B – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 1
JAPONÉS B – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 1

Friday 21 May 2010 (afternoon)
Vendredi 21 mai 2010 (après-midi)
Viernes 21 de mayo de 2010 (tarde)

1 h 30 m

TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for Paper 1.
- Answer the questions in the Question and Answer Booklet provided.

LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'Épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la Prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

みらい
未来のナノテク生活

けいたい電話



最近けいたい電話が すごく小さくなったのは、ナノテクのおかげだ。

スーパーエコカー

ナノテクを使って、水から水素^{すいそ} (H_2) を作り出し、それをエネルギーとして走るエコな車。



スーパーウェア

ナノテクを使って、油^{あぶら} や水分をはじく、汚れない服を作る。

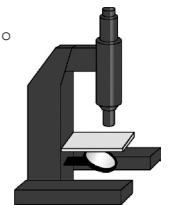
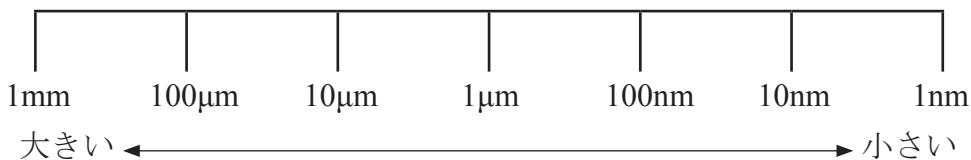
宇宙エレベーター

シャトルを使わなくても宇宙に行けるエレベーター。すごい強度のナノテク^{ざいりょう} 材料で作る。



「ナノテク」って何なの？

「ナノ」(nm) って、もともとはラテン語の言葉^{ことば}だったんだ。今は、1センチの1000 万分の一の大きさという、とても小さい単位として使われているんだ。

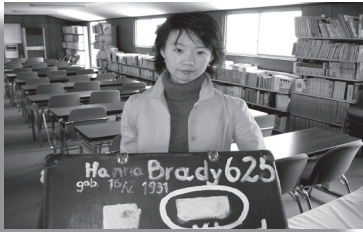


けんびきょう

そのとても小さな世界で物質^{かこう}を加工して、思い通りの性質を持つ物質や新しい機能を持つ物質を作り出す技術の事を「ナノテクノロジー」と言うんだ。例えば、ダイヤモンドより強い物質を開発しようとしている。そんな技術が研究できるようになったのは、すごく小さい物まで見られるけんびきょうが最近発明されたからだ。学校で使う けんびきょうで見られる倍率は 400 倍ぐらいだけど、このけんびきょうでは 100 万倍 ~ 1000 万倍まで見ることができるんだ。



問題 B



ハンナのかばん



第二次世界大戦中、ユダヤ人に生まれたというだけで、多くの人が命をうばわれました。このできごとは「ホロコースト」とよばれます。ホロコースト教育資料センターの石岡^{いしおか}さんは、ユダヤ人の一人、ハンナという女の子が残したかばんを持って、各地の学校をまわり、平和の大切さを熱心に問いかけています。

「うわっ、大きい!」千葉県^{ちば}の学校の体育館^{いしおか}で石岡^{いしおか}さんが横 1 メートルほどの旅行かばんを取り出すと、生徒たちからこえが上がりました。「この中には悲しい思い出がいっぱいつまっています。持ち主のハンナちゃんはユダヤ人の女の子でした。」石岡^{いしおか}さんが静かに語り始めました。日本の生徒に第二次世界大戦の悲しい歴史を伝えようと、石岡^{いしおか}さんは 4 年前、アウシュビッツ博物館^{はくぶつかん}からこのかばんを借りました。ふたにはドイツ語で「ハンナ・ブレイディ 1931 年 5 月生まれ」と書いてあります。「かばんの中は空っぽで、手がかりは何もありません。ハンナがどんな子だったのか、ヨーロッパ中の博物館^{はくぶつかん}に聞くなどして調べるうちに、お兄さんが今も生きていることが分かったのです。」

石岡^{いしおか}さんは、ハンナのお兄さんから借りた写真をスクリーンに映しながら、ハンナについていろいろ話しました。ハンナがチェコ（当時はチェコスロバキア）の小さな町で生まれたこと、戦前たくさんのゆめを持って楽しく過ごしていたこと、戦争中生活がなくなったこと、いずれ戦争中に殺されたことなどです。石岡^{いしおか}さんは「このかばんは、一つの命が消えてしまう悲しさを教えてくれました。みなさんも、平和をつくるためには、どうしたらいいのか、話し合ってみてください。」としめくくりました。

石岡^{いしおか}さんの話を聞いて、生徒たちは平和の大切さについて、深く考えたようです。

20

それからまたしばらく、二人は出口のない会話を続けた。〈中略〉 それでも最後には女の方があきらめた。
「分かったわ」と女は言った。「もういいからコーラを買ってきて」

Q氏はそれを聞くとほっとしたように立ち上がって売店に行った。女はサングラスをかけ、じっと前方をにらんでいた。僕は本の同じ行を何度も何度も読んでいた。

25

やがてQ氏はコーラの入った大きな紙コップを両手に持ってもどってきた。そして一つを女に渡し、デッキ・チェアにこしを下ろした。「あまり深刻に考えちゃだめだよ」とQ氏は言った。「そのうちにまたきつと…」

その時、女が手に持ったコーラの紙コップをQ氏の顔にむけて投げつけた。コップはQ氏の顔にまともに当たった。Lサイズ・カップ分のコカ・コーラの2/3はQ氏にかかり、残りの1/3が僕にかかった。それから女は何も言わずに立ち上がり、水着のおしりの部分をちよつとひっぱり下ろしてからすたすたと歩きさって行った。後をふり返りもしなかった。僕とQ氏は十五秒くらい呆然としていた。まわりの人々もびつくりしたように我々を見ていた。

30

最初に気を取りもどしたのはQ氏だった。彼は僕にむかって「もうしわけありません」と言つてタオルを差し出した。シャワーをあびるからいい、と言つて僕はそれを断った。Q氏は少し困ったような顔をしてタオルをひっこめ、それで自分の体をふいた。

35

「本をべんしようさせてください」と彼は言った。本はたしかにぐしょぬれだった。しかしそれは安物の文庫本だったし、たいしておもしろい本でもなかった。だれかがコーラをかけて読み通すじゃまをしてくれただけありがたいくらいだった。僕がそう言くと、彼はにっこり笑った。むかしと同じくらい気持の良い笑顔だった。

彼はそれからすぐに帰った。帰りぎわにもう一度僕にあやまった。しかし彼はとうとう最後まで僕の事を思い出さなかった。

問題 C

だめになった王国

村上春樹
はるき

Q氏はそのころ僕が住んでいたアパートのとなりの部屋に住んでいた。しおを貸したりドレッシングを借りたりして
いるうちに我々は仲良くなり、そのうちに部屋を往き来してレコードをきいたりいっしょにビールを飲んだりするよ
うになった。僕と僕のガール・フレンドと彼と彼のガール・フレンドと四人でかまくらまでドライブに行ったことも
ある。とても気持の良いつきあいだった。大学四年の夏に僕はアパートを出て、それで我々は別れた。

僕がQ氏に会ったのはその十年ぐらいあとだった。僕は赤坂近くのホテルのプールサイドで本を読んでいた。Q氏
は僕のとなりのデッキ・チェアに座っていた。Q氏のとなりにとはとても洒落たビキニをきた足の長い女の子が座つて
いた。彼女はQ氏の連れだった。

彼がQ氏であることは僕にはすぐに分かった。〈中略〉彼の方は僕には気づかなかつた。僕はどちらかというと
平凡な顔つきだし、それにサングラスをかけていた。僕は少しまよったが、結局こえはかけないことにした。〈中略〉

プールはとても静かだったので、Q氏と連れの女の子の話はいやでも僕の耳に入ってきた。とてもこみいった話だっ
た。〈中略〉二人の長い話を要約してみると――もちろんかなりの部分を僕が想像でおぎなっているわけだが――
こういうことだった。つまりQ氏はテレビ局だかなんだかのディレクターのような職についていて、女の方はちよっ
と有名な歌手だか女優だった。そして女の方に何かトラブルだかスキャンダルだかがあって――あるいはただ単に
人気が落ちたというだけのことなのかもしれないけれど――番組を外されることになった。そして現場の直接の責
任者であるQ氏にそれを宣告する役目がまわってきたのだ。〈中略〉

「我々はスポンサーなしにはやってけないんだよ」とQ氏は言った。「君だってこの世界で飯食ってるんだから、
それくらい分かるじゃないか」

「じゃあ、あなたにはまるで責任も発言力もないってことね？」

「まるつきりないわけじゃないけど、とてもかぎられたものだよ」

問題 D

高校生フリーマーケット

きられなくなった洋服や使わなくなったゲームを すてるのは もったいない。要らなくなった物を売って他の人に使ってもらおうという「高校生フリーマーケット」が東京で毎月開かれています。出店できるのは、高校生ですが、いろいろな人が買いに来ます。

今回の会場は東京ドームシティ。「東京リサイクル運動市民の会」^{しゅざい}の主催で、午後 1 時から 3 時まで開かれました。出店は 50 店までで、出店料は 300 円です。東京リサイクル運動市民の会の人たちは、出店する生徒に、「収支バ^{しゅうし}ランスシート」を配って、売った物と金^{きんがく}額、ここで使ったお金を書いて、帰る前に出してもらいます。どのぐらいの売上があったのか、買い物にいくら使ったのか、お金が もうかったのかなど、「経済の勉強」もしてもらうためです。



お店を出す生徒は受付^{うけつけ}で出店料を払ってから、1.5m² のシートをもらいます。会場にそのシートを広げて品物を並べます。品物の値段は生徒が自分たちで決めます。一点ずつ別々の品物を並べる店もあれば、いろいろなアクセサリなどをセットにして、100 円の「お楽しみセット」を用意する店、カードゲームの「専門店」などもあります。この店でカードを 2 まい買った小学 4 年生の男の子は「すごく珍しいカードが買えた。安い!」と、喜んでいました。10 円しか持っていない 5 才の男の子には、「店員」の高校生が「特別安売りにしてあげるよ。」と、50 円のカードを 10 円で売ってあげました。



思ったほど売れなかったという女子高生は、「小さくて、かわいくて、安い物が売れるみたい。」と、店の出しかたの勉強にもなったようです。

東京リサイクル運動市民の会の増田さんは、「使わなくなったら、必要としている人にゆずるのがフリーマーケット。物を大切に^{かんきょう}する心を育てたり、お金の上手な使いかたを身につけたりします。また、物を すてないのは環境にいいですし、知らない人と やりとりするのも いい体験です。」と話していました。